

二〇一三年三月現在 勝田政治

## 著作目録

### I 著書

- (1) 『廃藩置県―「明治国家」が生まれた日―』  
(講談社、二〇〇〇年七月)
- (2) 『内務省と明治国家形成』  
(吉川弘文館、二〇〇二年二月)
- (3) 『政事家』大久保利通―近代日本の設計者―』  
(講談社、二〇〇三年七月)
- (4) 『小野梓と自由民権』  
(有志舎、二〇一〇年六月)
- (5) 『廃藩置県―近代国家誕生の舞台裏―』  
(KADOKAWA、二〇一四年一〇月)

- (6) 『大政事家 大久保利通―近代日本の設計者―』  
(KADOKAWA、二〇一五年三月)
- (7) 『大久保利通と東アジア』  
(吉川弘文館、二〇一六年一月)
- (8) 『明治国家と万国対峙』  
(KADOKAWA、二〇一七年八月)
- (9) 『江戸三百藩の崩壊―版籍奉還と廃藩置県―』  
(夷光祥出版、二〇一九年五月)

## II 編書

- (1) 『内務省年報・報告書』全14巻・別巻3 (大日方純夫・我部政男両氏と共編)  
(三一書房、一九八二年一〇月―一九八四年九月)
- (2) 『明治維新の地域と民衆 明治維新史研究4』(牛米努氏と共編)  
(吉川弘文館、一九九六年)
- (3) 『大久保利通文書・人名索引』  
(マツノ書店、二〇〇五年九月)
- (4) 『大久保利通日記・人名索引』

- (マツノ書店、二〇〇七年一月)
- (5) 『大久保利通関係文書・人名索引』  
(マツノ書店、二〇〇八年八月)
- (6) 『原口清著作集』全5巻(松尾正人・高木不二・森田朋子・久住真也氏と共編)  
(岩田書院、二〇〇七年五月～二〇〇九年四月)
- (7) 『講座 明治維新 第4巻 近代国家の形成』(中川壽之氏と共編)  
(有志舎、二〇一二年三月)
- ### Ⅲ 自治体史
- (1) 『新潟県史 資料篇21 現代Ⅱ(社会文化編)』  
(新潟県、一九八五年三月)
- (2) 『新潟県史 通史篇9 現代(戦後教育編)』  
(新潟県、一九八八年三月)
- (3) 『新潟市史 資料篇8 現代Ⅰ(政治経済編)』  
(新潟市、一九九一年三月)
- (4) 『新潟市史 資料篇9 現代Ⅱ(社会文化編)』  
(新潟市、一九九三年三月)

- (5) 『新潟市史 通史編5 現代（戦後政治編）』  
（新潟市、一九九七年三月）

#### IV 論文

- (1) 「明治一四年の政変―免官者の政体構想を中心に―」  
『歴史評論』第三四八号、一九七九年四月
- (2) 「近代天皇制研究と滝村国家論」  
『道』第一一巻第三号、一九八一年六月
- (3) 「共存同衆の基礎的研究」  
『民衆史研究』第二一号、一九八一年一月
- (4) 「統治機構の確立―内務省を中心として―」  
鹿野政直・由井正臣編『近代日本の統合と抵抗1』日本評論社、一九八二年二月
- (5) 「宮廷側近グループと自由民権運動―佐佐木高行を中心に―」  
『早稲田大学文学研究科紀要』別冊第一〇号、一九八三年一月
- (6) 「小野梓の啓蒙活動―共存同衆を中心に―」  
『早稲田大学史記要』第一七号、一九八五年一月
- (7) 「共存同衆と小野梓」

- (8) 「共存同衆と菊池大麓」
- (9) 『早稲田大学史記要』 第一九号、一九八七年三月)
- (10) 「戦後改革期における新潟市民の政治参加」
- (11) 『市史にいがた』 第三号、一九八八年一〇月)
- (12) 「第二次大隈内閣と憲政会の成立」
- (13) 『早稲田大学大学史編集所編『大隈重信とその時代』 早稲田大学出版部、一九八九年一〇月)
- (14) 「内務省の設立」
- (15) 『日本史研究』 第三二七号、一九八九年一月)
- (16) 「安部磯雄の議会活動」
- (17) 『早稲田大学社会科学研究所編『安部磯雄の研究』、一九九〇年九月)
- (18) 「佐佐木高行「保古飛呂比」」
- (19) 『岩波書店編集部編『近代史料解説・総目次・索引』 日本近代思想体系別巻、岩波書店、一九九二年四月)
- (20) 「明治六年の留守政府」
- (21) 『明治維新史学会編『明治維新の政治と権力』 吉川弘文館、一九九二年九月)
- (22) 「維新の三大改革」
- (23) 『田中彰編『近代日本の軌跡1 明治維新』 吉川弘文館、一九九四年四月)
- (24) 「内務省内政の成立」

- (16) 『社会科学討究』第一一六号、一九九四年七月
- (17) 「征韓論政変と国家目標」
- (18) 『社会科学討究』第一二二号、一九九六年三月  
「小野梓研究の現状と課題」
- (19) 『早稲田大学史記要』第二八号、一九九六年九月  
「共存同衆と自由民権運動」
- (20) 『社会科学討究』第一二四号、一九九七年三月  
「初期内務省内政の成立と展開」
- (21) 『内務省史研究会編』『内務省と国民』文献出版、一九九八年五月  
「廃藩置県研究の現状と課題」
- (22) 『国史館史学』第七号、一九九九年四月  
「維新政権論の現在」
- (23) 『歴史評論』第五八九号、一九九九年五月  
「大久保政権と内務省」
- (24) 『田中彰編』『近代日本の内と外』吉川弘文館、一九九九年一月  
「民権運動家の民衆像―小野梓と馬場辰猪を中心に―」
- (25) 『新井勝紘編』『近代移行期の民衆像』青木書店、二〇〇〇年七月  
「大久保利通と台湾出兵」

- (26) 「戊辰戦争と「藩」の消滅」
- (27) 「歴史読本」第四八卷第一号、二〇〇三年一月）
- (27) 「台湾出兵と宮島誠一郎」
- (28) 「由井正臣編『幕末維新期の情報活動と政治構想』梓出版社、二〇〇四年三月）
- (28) 「明治後期の政治と明治天皇」
- (29) 「『国士館史学』第一三号、二〇〇五年三月）
- (29) 「大久保利通とビスマルク」
- (30) 「『国士館大学文学部 人文学会紀要』第三八号、二〇〇五年十二月）
- (30) 「解説」
- (31) 「『日本近代国家の成立 原口清著作集4』岩田書院、二〇〇八年一月）
- (31) 「征韓論政変と大久保利通」
- (32) 「『国士館史学』第一五号 二〇一一年三月）
- (32) 「『小野梓—自由民権運動と早稲田大学—」
- (32) 「早稲田大学日本地域文化研究所編『土佐の歴史と文化』、二〇一一年九月）
- (33) 「総論 近代国家の形成」
- (33) 「講座 明治維新 第4巻 近代国家の形成』有志舎、二〇一二年三月）
- (34) 「征韓論政変と大久保利通」

- (35) 『講座 明治維新 第4巻 近代国家の形成』有志舎、二〇一二年三月  
「大久保利権の朝鮮政策」
- (36) 『国士館史学』第一八号、二〇一四年三月  
「桂園時代の政治と明治天皇」  
（安在邦夫・真辺将之・荒船俊太郎編『明治期の天皇と宮廷』梓出版社、二〇一六年二月）
- (37) 「松陰はどのようにとらえられてきたか」  
（『国士館大学文学部 国士館人文学』第七号、二〇一七年三月）
- (38) 「大久保利通―維新の元勳、明治政府の建設者」  
（筒井清忠編『明治史講義 人物篇』、二〇一八年四月）
- (39) 「立憲国家と明治維新」  
（『講座 明治維新 第12巻 明治維新史研究の諸潮流』有志舎、二〇一八年八月）
- (40) 「天皇輔導と大久保利通」  
（『国士館史学』第二四号 二〇二〇年三月）
- (41) 「大久保利通と宮中改革」  
（明治維新史学会編『明治国家形成期の政と官』有志舎、二〇二〇年一〇月）
- (42) 「明治維新と天皇親政（1）―研究の現状と課題―」  
（『国士館人文学』第一一号、二〇二一年三月）
- (43) 「明治維新と天皇親政（2）―討幕の密勅と王政復古―」

- 〔国士館史学〕第二六号、二〇二二年三月  
(44) 「明治維新と天皇親政 (3) — 太政官制と「公議」—  
〔国士館史学〕第二七号、二〇二三年三月)

## V 書評

- (1) 「遠山茂樹『日本近代史I』」  
〔歴史評論〕第三一五号、一九七六年七月  
(2) 「毛利敏彦『明治六年政変の研究』」  
〔歴史評論〕第三六五号、一九八〇年九月  
(3) 「宮地正人『天皇制の政治史的研究』」  
〔人民の歴史学〕第七〇号、一九八二年一月  
(4) 「鳥海靖『「明治」をつくった男たち』」  
〔日本史研究〕第二四四号、一九八二年一二月  
(5) 「下山三郎『近代天皇制の形成過程』」  
〔日本史研究〕第三四五号、一九九一年五月  
(6) 「永井秀夫『明治国家形成期の外政と内政』」  
〔歴史評論〕第四九四号、一九九一年六月

- (7) 「大日方純夫『自由民権運動と立憲改進黨』  
『歴史評論』第五一六号、一九九三年四月」
- (8) 「長野暹『西南諸藩と廢藩置県』  
『歴史学研究』第七〇八号、一九九八年三月」
- (9) 「大濱徹也『国民国家の構図』  
『明治維新史学会報』第三七号、二〇〇〇年一〇月」
- (10) 「笠原英彦『大久保利通』  
『日本歴史』第六九九号、二〇〇六年八月」
- (11) 「高橋秀直『幕末維新の政治と天皇』  
『日本歴史』第六九九号、二〇〇七年一二月」
- (12) 「明治大学史資料センター編『尾佐竹猛研究』  
『明治維新史研究』第五号、二〇〇九年二月」

## VI その他

- (1) 「大久保利通という〈政事家〉」  
『本』第三二五号、二〇〇三年八月
- (2) 「大久保利通―現実を見据えた「熟考と果斷」の政治―」

- (1) 『自由民主』第六〇九号、二〇〇三年一月
- (2) 『大久保利通伝』を推薦する」
- (3) 『大久保利通伝』下巻〈復刻版〉、マツノ書店、二〇〇四年七月
- (4) 「地租改正と秩禄処分」  
〔岩壁・小林・広瀬編『史料で透視する近代日本』ゆまに書房、二〇〇四年一月〕
- (5) 「新しい歴史教科書」にみる明治維新」  
〔歴史学研究会編『歴史研究の現在と教科書問題』、青木書店、二〇〇五年八月〕
- (6) 「明治維新を知る宝庫―『大久保利通文書』の復刻に寄せて―」  
〔大久保利通文書』第十巻〈復刻版〉、マツノ書店、二〇〇五年九月〕
- (7) 「廃藩置県と岡山県」〔岡山県立記録資料館 開館記念講演記録〕  
〔岡山県立記録資料館 紀要』第一号、二〇〇六年三月〕
- (8) 「原口清著作集』刊行開始」  
〔静岡県近代史研究会 会報』第三四四号 二〇〇七年五月〕
- (9) 「『大久保利通日記』から見る明治維新」  
〔大久保利通日記』下巻〈復刻版〉、マツノ書店、二〇〇七年一月〕
- (10) 「征韓論政変と西郷隆盛」  
〔別冊歴史読本 西郷隆盛―孤高の英雄全軌跡―』、新人物往来社、二〇〇八年一月

- (11) 「実像に迫るための5冊 大久保利通」
- (12) 「中央公論」第一二五卷一号、中央公論社、二〇一〇年一月
- (13) 「中村報告へのコメント」
- (14) 『ヒストリア』第二四一号、二〇一三年十二月
- (15) 「大久保利通の生き方に学ぶ」
- (16) 『致知』四八六号（二〇一六年一月号）、二〇一五年十二月
- (17) 「征韓論争と大久保外交」
- (18) 『本郷』第一二二号、二〇一六年三月
- (19) 「刊行の辞」
- (20) 『明治維新史学会編』幕末維新の政治と人物、有志舎、二〇一六年九月
- (21) 「原口清先生の御逝去を悼む」
- (22) 『静岡県近代史研究会 会報』原口清先生追悼号、二〇一七年一月
- (23) 「川路利良と万国対峙」
- (24) 『大警視だより』第三号、二〇一七年一月
- (25) 「原口清先生の御逝去を悼む」
- (26) 『明治維新史研究』第一四号、二〇一七年二月
- (27) 「大久保利通と東アジア国際関係」
- (28) 『環境会議』春号二〇一七、二〇一七年三月

- (20) 「原口史学に学ぶ―『原口清著作集』(全5巻)の編集から―」
- (『静岡県近代史研究』第四三号、二〇一八年一〇月)
- (21) 「『日本史概説』の刊行にあたって」
- (『国史館史学』第二五号、二〇二二年三月)
- (22) 「明治維新史学会の思い」
- (『明治維新史研究』第二〇号、二〇二二年三月)

## VII 辞典(事典)

- (1) 『史籍解題辞典』下巻
- (東京堂出版、一九八五年九月)
- (2) 『角川 日本史辞典』
- (角川書店、一九九六年十一月)
- (3) 『日本近現代史研究事典』
- (東京堂出版、一九九九年七月)
- (4) 『岩波 日本史辞典』
- (岩波書店、一九九九年一〇月)
- (5) 『日本史文献事典』

(弘文堂、二〇〇三年二月)

(6) 『明治時代史大辞典』 1・2・3

(吉川弘文館、二〇一二年二月～二〇一三年二月)